

平成20年度
--------

施設名(愛称名)	ハリスの足湯
----------	--------

番号
----

14
----

平成20年度

# 施設評価調書

施設の名称.....ハリスの足湯

所管担当課.....観光交流課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	ハリスの足湯		2 担当課 担当係	観光交流課 観光戦略係	
3 所在地	下田市2丁目11番10号		4 設置年月	平成12年11月	
5 総合計画の 位置付け	勢いと活力づくり	まちの活力づくり	商業		
	施策体系	中心市街地の活性化	交流・イベントによる交流促進		
	主要事業	中心市街地活性化推進事業	中心市街地活性化推進事業		
6 設置目的	市民の健康増進と観光の振興を図る				
7 設置根拠	下田市足湯施設条例				
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積	23.76㎡		
		建築面積	23.76㎡		
	実施事業 の概要	中心市街地の無料施設として観光客、市民の交流の場となっている。			
		料金体系	料金区分	無料施設	
	主な料金		入湯料は無料。自主事業としてタオルの販売(1枚100円)		
	減免内容				
		利用料金制度	有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	施設運営 方法	直接運営			
<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度		指定管理者	足湯管理組合		
一部委託		委託内容			
直接従事職員	下田市職員数 委託団体職員数				
9 市内の 類似施設	下田市所有				
	民間所有	伊豆急下田駅			
	県所有	道の駅「開国下田みなと」			

平成20年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成19年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数15年(h12.11~h27.10) ・年間償却額20万円		
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費	3,000,000円	建物減価償却後残高	1,600,000円			
	財源内訳	3,000,000円	市債残高	1,800,000円			
	県支出金		物品減価償却後残高				
	市債	2,700,000円	市債残高				
	一般財源	300,000円	耐用年数15年の算定				
	寄附金等		構築物:(木造・入湯管及びへい)				
物品(*万円以上)		3,000,000円÷15年=20万円/年					
11 年間経費等推移 (単位:円)	「ハリスの足湯」維持管理決算書:足湯管理組合						
	区 分		H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算	
	収入	負担金		360,000	36,000	360,000	360,000
		タオル売上、利息等		78,900	62,074	69,066	60,000
		繰越金		110,153	148,693	128,943	96,712
	収入合計			549,053	570,767	558,009	516,712
	支出	1 施設清掃費		118,650	109,980	106,000	110,000
		2 水道・電気料		76,954	47,752	48,499	50,000
		3 温泉使用料		171,264	171,264	171,264	172,000
		4 清掃・消耗品費		3,032	7,411	2,300	30,000
		5 事務・雑費		452	2,960	20,840	30,000
		6 事業費		5,229	67,737	80,994	70,000
		7 事業委託費		30,000	30,000	30,000	30,000
		8 修繕費		0	4,720	1,400	10,000
		9 予備費		0	0	0	14,712
	支出合計			405,581	441,824	461,297	516,712
	市からの補助金			0	0	0	0
	市からの指定管理料			-	-	-	-
	減価償却費			200,000	200,000	200,000	200,000
	市債利子			36,730	33,033	29,729	26,336
下田市負担年間総経費			236,730	233,033	229,729	226,336	
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)						
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度	
		利用者数	8,700人	8,600人	14,600人	9,000人	
		参考:利用単位当たり市負担額	27円	27円	15円	25円	
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数						
	開場期間	年中無休					
使用時間	午前9時から午後9時まで						
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		調査結果			
	直近の実施時期						
	調査手法						
	調査数						

平成20年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	利用者数の目標値	人	9,000	8,800	8,900	9,000
	" の実績	人	8,700	8,600	14,600	
	目標達成度	%	96.6	97.7	164.0	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 他に適当な指標がないため代替指標を選択。利用者数はタオル販売数より推測したもの。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	市民の健康増進				
		観光の振興				
	代替指標	施設利用者数				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標		区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標	目標指導	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						

平成20年度

施設名(愛称名)    ハリスの足湯

番号    14

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	施設の総利用者数等		人	8,700	8,600	14,600	9,000
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	405,581	441,824	461,297	516,712
	利用単位当たり経費	÷	円/人	46.61円	51.37円	31.59円	57.41円
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標		区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						
目標指数	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	405,581	441,824	461,297
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	78,900	62,074	69,066
	受益者負担比率	÷	%	19.45	14.04	14.97
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円			
	補正受益者負担比率	÷	%			

平成20年度	施設名(愛称名)	ハリスの足湯	番号	14
--------	----------	--------	----	----

## 施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	設置目的に沿った利用がされている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	住民が随時利用している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	年間1万人、1日当たり30人弱の利用者であり、平成19年度は向上したが、今後も工夫が必要。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	平成12年度完成のため、根本的な修繕計画はないが、個別修繕で対応。19年度にはテント(屋根)の張替えを行った。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	地元の足湯管理組合が指定管理しており、随時利用者との情報交換はされている。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	下田駅ロータリー、間戸が浜海遊公園、蓮台寺に同様の施設あり。立地的に競合は無い。
		民間においても十分可能な施設なのか	松蔭の足湯のようにボランティアによる運営ならば可能か。無料施設なので民間経営は厳しいと考える。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうなのか	使用料は無料であり、電気料等の維持費は管理組合が支出している。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうなのか	他の足湯に比べ、中心市街地にある為、観光客以外に地元住民の利用も多い。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	特に具体的な計画利用者数は算出していない。
		施設の耐用年数は何年有るのか	耐用年数は15年を想定している。残7年程度を考えている。
		施設の今後の維持経費の算定はどうなのか	現状は、赤字を免れているが、利用者の減少傾向を考慮して経費の節減を検討する必要がある。
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	基本協定に基づき支出されている。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	地元の負担が過大になる可能性がある場合には、検討する必要がある。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	特になし。
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	特になし。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	老朽化した場合、現状の財政状態では大規模修繕、改築は難しいが計画的な修繕を行い、対応したい。
		地域、民間に譲渡できないのか	タオル販売程度の収入しかないので、民間や地域での経営は難しい。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	可能性なし。
その他			

平成20年度

施設名(愛称名)    ハリスの足湯

番号    14

### 見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	指定管理による運営が現状好ましいと考えている。
	受益者負担の妥当性	タオル販売料を運営費に当てている。現状では良好と考える。
	実施主体の妥当性	地域商店街による運営であり、地域に根付いたものとして良好と考えている。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	現状の管理体制では、老朽化した場合、大規模な修繕や改築が難しいが、外枠・屋根等の取りはずしや、維持費の軽減策を検討し、更には売却あるいは無償譲渡などの方法も考え、なんとか足湯を維持したと考えている。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	無料の施設であり、現状の数値目標は妥当であると考えている。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	無し。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	商店街関係者の負担金が運営を支えている面が大きい。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	アンケートは実施していない。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	利用者の要望を把握に努め、検討していく。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	専任の係員を置くなどしてサービス向上に努めたい。

### 平成19年度事業内容及び見直し事項

事業内容	タオルの販売が唯一の利用者からの収益であり、販売促進の方策を検討する必要がある。
見直し事項	管理委託制度の条例を改正する。平成17年9月議会 指定管理者制度導入する。指定管理者：足湯管理組合 平成17年12月議会

平成20年度

施設名(愛称名) ハリスの足湯

番号 14

### 施設懸案事項

No.	懸案事項	改修経費	備考
1	ドア破損	100,000円	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

### 今後の方向性

今後の方向性	充実 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	(具体的な内容) 設置後8年が経過し、全体的に老朽化している。21年度からの指定管理も現在の受託者が引き続き行う方針だが、施設耐用年数経過後の見通しが立っていない。今後も事務局である商工会議所との協議を継続していきたいが、根本的改修の必要に迫られた場合は、設置目的の検証とともに施設のニーズや行政の役割などを加味しながら、外柵・屋根等の取りはずしや、維持費の軽減策を検討し、更には売却あるいは無償譲渡などの方法も考え、誘客増進策の一環としても、なんとか足湯を維持していきたいと考えている。
--------	--	---